



第140号

宮城県亶理農業改良普及センター

〒989-2301

亶理郡亶理町逢隈中泉字本木9

TEL 0223-34-1141

FAX 0223-34-1143

E-mail wrnokai@pref.miyagi.lg.jp

http://www.pref.miyagi.jp/wr-nokai/



ドローンを使っでの大豆の病害虫防除（岩沼市内）

コロナ後に向けて

宮城県亶理農業改良普及センター 次長（総括担当） 櫻田英子

令和2年もあと2ヶ月となりました。今年一番の話題は、やはり新型コロナウイルス感染症の感染拡大でしょうか。「緊急事態宣言」から始まり、「3密の回避」や「ステイホーム」、「新しい生活様式」など、これまでには考えられなかった行動が求められるようになりました。

農業分野においても、各種イベントの自粛や外食機会の減少によって、販売が大きく落ち込むなどの影響が出ました。数か月から数年かけて農産物を生産する農業は、簡単に生産量を調整できないため、行き場のない生産物に心を痛めた方も少なくなかったと思います。

一方で、農業との関係が深い食生活にもいろいろな変化が見られました。ステイホームに伴い、自宅で食事をする回数が格段に多くなった

ことで、自分で料理をする機会や、手の込んだ料理を作る人が増えたそうです。また、飲食店では、メニューのテイクアウト（お持ち帰り）やデリバリー（出前）が普及したことで、プロの料理人の料理が手軽に食べられるようになりました。求められる食材や流通のあり方が変化し始めているのです。

コロナ禍の影響は長期間に及ぶと言われていきます。まずは、コロナ禍による様々な変化をしっかりと捉えた上で、「withコロナ」や「afterコロナ」に対応していくことが大切です。普及センターでは、地域の皆様と一緒に知恵を出し合いながら、引き続き、安定した経営継続に向けた支援をして参ります。

地域
の話題

今年も「乾田直播栽培勉強会」を開催

水稻乾田直播栽培の技術向上に向けて、普及センターでは、昨年度から、「直播栽培勉強会」を定期的に開催しています。勉強会では、播種作業や雑草・病虫害防除、基肥・追肥の施肥設計、収量予測や収穫時期の判断など、生育ステージ毎の管理作業について、参加者同士で情報交換を行っています。

7月には、勉強会の一環として、乾田直播栽培の取組が多い石巻地域を視察しました。現地の乾田直播ほ場の見学と現地の生産者との意見交換を通じて、参加者それぞれに、取組みへの意欲が高まったようです。

今後は、これまでの乾田直播栽培の取組みを再確認し、次年度以降の栽培管理について検討する「総合勉強会」の開催を予定しています。水稻乾田直播栽培に興味のある方は、是非、普及センターにお声がけください。



乾田直播栽培勉強会（名取）の様子

地域
の話題

「亘理地域シャインマスカット栽培技術研修会」を開催！

新たな地域特産品の1つとして注目されている「シャインマスカット」は、消費者から需要が高く、直売所等でも人気の商品です。

今年から、当普及センターでは、シャインマスカットに関するプロジェクト活動に取組んでおり、指導対象生産者への個別巡回や研修会を開催し、技術支援を行っています。

9月1日に、農業・園芸総合研究所を会場として、第3回目の研修会を開催しました。今回は、プロジェクトの指導対象者の他、シャインマスカット栽培の初心者や今後栽培意向のある方々へ呼びかけを行ったところ、29名もの生産者に参加いただきました。

研修会では、品質向上や省力化技術等に関する講義の他、シャインマスカットをメインに観光ぶどう摘み取り園を始めた田所食品株式会社（山元町）の田所大樹代表取締役からの事例紹介や、研究所のシャインマスカットほ場見学会を実施しました。

シャインマスカット栽培は、空きハウスの活用や複合経営の一品目としても導入の意向が高まっています。今後もJAや各直売所等と連携し、研修会の開催や消費者や実需者へのPR支援を行う計画です。



研修会での園地視察の様子

農業士
の紹介

よろしくお願ひします ～新任農業士のご紹介～

宮城県では、地域農業の振興と農業後継者の育成に貢献する農業者を「農業士」として認定しています。令和2年度は新たに山元町の鈴木康司さんを認定しました。

【青年農業士】山元町 鈴木康司さん（いちご）

本場栃木県のいちご農家で1年間研修を受けられた後、地元山元町にもどり就農されました。生産量を増やすために、多くの友人との情報交換を日々欠かすことなく、他の追随を許さない高収量のいちごづくりを目指しています。



地域
の話題

「みやぎ農業未来塾」を開催

令和2年7月16日、みやぎ農業未来塾を開催しました。

参加者は管内の若手いちご生産者で、名取市の「ファンファームなとり」と亘理町の「齋藤農園」のハウスを見せていただきました。ファンファームなとりでは、園主の佐々木夫妻から、メロンとズッキーニでいちごの収穫がない時期の収入確保の取組みについて、齋藤農園では、園主の齋藤司さんから、効率の良い省力的な育苗の工夫について、説明を受けながら園内を見せていただきました。

参加者から様々な質問が出され、それぞれの取組みに対する関心の高さがうかがわれるとともに、参加者同士も活発に情報交換する姿が伺えました。



研修会の様子

地域
の話題

新型コロナウイルスの影響で需要が減少している花きの生産農家への支援を実施

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、イベントや冠婚葬祭による花の消費が減り、産地をはじめとした花き業界全体が大きな影響を受けています。そのため、県産花きの需要の維持・拡大を図るために、県全体の取り組みとして、販売会や公共施設での展示等を実施し、花き生産農家の支援を行っています。

これらの取組に加え、普及センターでは、管内の花き生産農家を中心に、国の支援制度である「高収益作物次期作支援交付金」の活用に向けた制度説明や申請に係る支援を、各市町や農協と連携して実施しています。

県産花きの需要喚起、花き生産農家の安定的な経営の実現に向けた取り組みを今後も継続して行っていきます。



花き生産者を対象とした「高収益作物次期作支援交付金」の説明会の様子

地域
の話題

「いちごの栽培コンサルティング技術高度化セミナー」の開催

宮城県園芸振興室が主催する栽培コンサルティング技術高度化セミナーが、今年も普及センター管内で開催されています。内容は、株式会社デルフィージャパンの加納賢三氏を講師とした、現地コンサルティングです。午前中に、管内モデル生産者ほ場（亘理町、山元町の2カ所）で、いちごの生育ステージや時期に応じた環境制御技術について現場で学び、午後は、いちご選果場にて、植物生理や環境制御技術について座学研修を実施します。セミナーの参加は随時受け付けておりますので、参加希望の方は普及センターにお問い合わせください。

セミナー開催スケジュール（予定）

- ・集合研修（計3回）9月10日、12月11日、3月中旬（県庁）
- ・現地コンサルティング（計5回）

9月23日、10月28日、11月25日、

1月中旬、2月中旬



いちごの根張りを確認する加納氏とモデル生産者

令和2年度 宮城県農林産物・花き品評会の結果

10月22日（木）～23日（金）に宮城県庁（仙台市）で「宮城県農林産物・花き品評会」が開催され、当普及センター管内でも数多くの方が入賞しました。おめでとうございます。

受賞された方をはじめ、品評会に御協力いただいた皆様に改めてお礼申し上げます。

No.	部門	品目名	品種名	市町村	氏名(敬称略)	受賞
①	果実	りんご	秋映	亘理町	結城 翔太	宮城県知事賞(2席) 宮城県園芸協会会長賞
②	果菜類	パプリカ	ナガノ	山元町	齋藤 一雄	宮城県知事賞(3席)
③	花	ばら	インスピレーション	名取市	丹野こずえ	銀賞
④	花	トルコギキョウ	セレブグリーンMAX	名取市	前野 弘美	銀賞
⑤	花	カーネーション	シャララ	名取市	丹野 司	銀賞
⑥	花	カーネーション	モンブラン	名取市	丹野 正	銀賞
⑦	花	カーネーション	バルッロ	名取市	三浦 智和	銀賞
⑧	花	ナデシコ	テルスター	岩沼市	菅原 龍也	銀賞

